



下町っ子の昭和

高橋澄夫さん

「小学4年生から家業を手伝って
いました」

現在、吉祥寺にお住いの高橋さんは、大正14年生れ瑞光尋常小学校出身です。

生家は、明治6年に牛5頭を横浜から購入し、国鉄南千住駅操作場となった小塚原刑場の隣接地を牧場として牛乳搾取業者「壮生舎」と屋号を名乗りました。

イトーヨーカドー近くに移転後は牛乳搾取業は廃業し、牛乳販売業を行なう傍らミルクホールも営業しておりました。ミルクホールは、イスとテーブルがあり手回しの蓄音機から当時の流行歌を流し、お客さんに牛乳を出していましたが、不良達が入りするようになり3年程で廃業した。4年生から毎朝、自転車牛乳配達をしてから登校してました。1合瓶のほか、百軒長屋やハーモニカ長屋と言われている棟割長屋に5勺(90CC)を配達しました。雨や雪の日の配達は辛く、すべて転んで雨の日はビンを割ったこともあります。家業を手伝うことは当たり前前の時代でした。

「お小遣いなんてことばは、知らなかったですね」

「かあちゃん、おあし」

「何に使うの」「紙芝居」
貰ったお金で景品の水飴や棒飴を見ていました。必要な時にお金を貰ってお菓子やおもちゃを買っていました。

「男組1〜3組、男女組は4組、女組5〜7組あり、一クラス70名で7組までありました」

で円を書いて石けりや相撲もしました。ベーゴマは低さが勝負を決めるため、色々工夫して楽しんでいました。
物心ついたころより映画に親しみ、お歯黒のお祖母さん連れられて三ノ輪座で無声映画を見て、洋画はキネマハウスに友人と半額の割引切符で2銭でみたそうです。

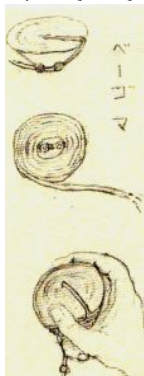
小学校卒業後は、

高等科に進む人、奉公に出る人、中
学に行く人と進路は分かれ、やんちゃな小学生時代から高橋さんはカーキ色の制服制帽、ゲートル、編み上げ靴を着装して、登下校は二列縦隊で歩く東京府立航空工業学校(現 航空高専)に入学しました。



お昼はお弁当で梅干の入った日の丸弁当が主でたまに海苔が乗っていたり、塩鮭やうずら豆が入っていて、嬉しくてそつとふたを開ける癖がついたそうです。空弁当箱をもってきてご飯とおかずを小使い室で詰めてもらう就学援助受給者も何人かいたそうです。公園もブランコもない時代でしたが、近くの空き地で女の子は、おはじきやお手玉、折り紙、ゴムとび等、男の子は丸メンコ、ビー玉、ベーゴマ、けん玉、チャンバラ、ゴ

口の野球や三角野球、ドッジボール等近所の空き地で遊んだそうです。ローセキ



お申込みは

090(2657)0300

会費500円

鬼塚まで



☆甲斐京子コンサート☆

11月3日午後2時10分開場

2時40分開演

サンパール荒川5F末広の間